

◎ 5月定例会「新緑を楽しむ」 5月8日(木) 快晴 参加者 22名
 ～目黒不動尊周辺の新緑を探索する催し～

落語でおなじみの「目黒のさんま」嘶に出てくる元になった場所「爺が茶屋」跡を訪れました。もともと「目黒不動尊」周辺は徳川將軍家のお鷹狩り場があったため、家康を初め家光の頃に盛んに通った場所でもありました。江戸庶民も「目黒不動尊」は江戸郊外でありながら府内扱いされており大変に賑わっていたところです。江戸の町からも近場にありいくつもの道筋が整えられていたようです。また、玉川上水の末端にあたり、「雅叙園」で有名な河岸段丘沿いに大名屋敷がいくつも建っており、大名庭園づくりに三田用水(玉川上水の分流)を利用していました。その一つが雅叙園に残っている百段階段脇の滝でした。残念ながら「雅叙園」は見学しませんでした。外からの眺めで想像しました。



江戸からの古道を通り、「大鳥神社」を通り「目黒不動尊」を江戸庶民の心で鑑賞させていただきました。



不動尊の境内を散策し、近くの「五百羅漢寺」の隣「らん茶屋」でお昼となりました。20人を超えていたので団体割引で羅漢様を拝見しながらお参りをしました。天気は快晴で春の心地よい風を受け、さわやかな一日を満喫することが出来ました。

合掌！ 合掌！！ 合掌！！！！



＜報告：箱田修一＞